

2 教育委員の自己点検及び評価

【教育委員の主な活動】

(1) 教育委員会議の開催状況

年度	開催日	議題等件数	出席委員数 (教育長を除く)	会議に付した主な案件
29	4月21日	2	4	平成29年度大阪府教育庁の運営方針について 等
	5月17日	6	5	平成30年度大阪府立高等学校「日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜」について、平成30年度大阪府公立高等学校「知的障がい生徒自立支援コース入学者選抜」及び平成30年度大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科の「大阪府立高等学校に設置する共生推進教室入学者選抜」について、平成30年度使用府立学校教科用図書採択要領及び平成30年度使用高等学校用教科用図書選定の手引きについて 等
	6月16日	2	5	知事からの意見聴取に対する回答の承認について、平成30年度使用高等学校用教科書について
	7月21日	4	5	グローバルリーダーズハイスクールの指定について、文理学科の拡充について、統合整備により平成30年度に新たに開校する予定の高等学校の校名(仮称)について 等
	8月23日	5	5	府立高等学校における平成30年度使用教科用図書の採択について、府立中学校における平成30年度使用教科用図書の採択について、府立支援学校における平成30年度使用教科用図書の採択について 等
	9月1日	3	5	平成28年度教育行政に係る点検及び評価結果の報告について、大阪府立学校条例及び大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画に基づく平成29年度実施対象校(案)について 等
	11月17日	6	5	知事からの意見聴取に対する回答の承認について、平成30年度大阪府公立高等学校の募集人員について、平成30年度大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科及び大阪府立高等学校に設置する共生推進教室の募集人員について、大阪府立学校条例及び大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画に基づく平成29年度実施対象校について、第2次大阪府スポーツ推薦計画(案)にかかる知事からの意見聴取について 等
	12月21日	2	5	知事からの意見聴取に対する回答の承認について、平成30年度「府立学校に対する指示事項」及び「市町村教育委員会に対する指導・助言事項」について
	1月19日	4	4	平成30年度公立小・中・義務教育学校、高等学校及び特別支援学校教職員定数の配分方針について 等
	2月16日	1	5	平成30年2月定例府議会提出予定の議案について
	3月28日	8	4	意見聴取に対する回答の承認について、大阪府教育振興基本計画における後期事業計画(教育委員会の権限に属する事項のみ)について、平成31年度大阪府公立学校入学者選抜方針等について、学校運営協議会の設置等に関する規則について 等
合計	11回	43	52	

(2) 教育委員意見交換の開催状況

年度	開催日	出席委員数 (教育長を除く)	意見交換を行った主な案件
29	4月21日	4	平成29年度校長公募説明会、知的障がい生徒自立支援コース・共生推進教室の取組みの充実、第37回近畿高等学校総合文化祭大阪大会、体力向上実践事例集の紹介 等
	5月17日	5	小学校の理科教育指導資料の活用 等
	6月16日	5	平成28年度教職員の評価・育成システム評価結果の分布の公表、教育委員の自己点検・評価 等
	7月21日	5	百舌鳥・古市古墳群 世界文化遺産国内推薦 等
	8月23日	5	教育行政の点検・評価、教育振興基本計画の後期事業計画 等
	9月1日	5	平成29年度大阪スポーツ賞 等
	11月17日	3	高等学校における通級指導 等
	12月21日	5	大阪府教育振興計画における後期事業計画 等
	1月19日	4	教職員の評価・育成システムに関するアンケート調査結果 等
	2月16日	5	平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における大阪府の結果 等
	3月28日	4	大阪府教員等研修計画 等
合計	11回	50	

(3) 大阪府総合教育会議

平成29年度 第1回大阪府総合教育会議

- ・と き 平成29年9月14日(木)
- ・と ころ 特別会議室(大)
- ・内 容 子どもたちの社会的自立に向けた力の育成～新しい時代が求める教育の実践～

(4) その他

活動内容	回数	延べ出席委員数(教育長を除く)
学校等視察(学校視察、教育センター視察、成果発表会視察、中学生生徒会サミット 等)	51	87
議会への出席(教育常任委員会、教育常任委員協議会 等)	6	21
選考会議等での審査員(学校経営推進費選考)	1	5
表彰式(大阪スポーツ賞贈呈、文化の日の表彰、優秀教職員等表彰)	3	4
各種会議、式典への参加(全国都道府県教育委員会連合会、近畿2府4県教育委員協議会 等)	6	9

平成 29 年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【井上貴弘教育委員】（平成 25 年 10 月 1 日就任）

教育委員会議における取組み（主な発言の内容） 【会議出席 11 回】

【平成 30 年度大阪府立学校校長及び公立小・中・義務教育学校任期付校長の公募選考について】（基本方針 7 関係）

*平成 29 年 5 月 17 日開催の教育委員会会議

- ・優秀な人材の確保に向けてはより多くの人に申し込んでもらう必要がある。そのために、募集案内の前倒しを行うとともにポスターや求人情報サイトへの掲載など様々な広報活動の実施を要望。

【平成 28 年度教育行政に係る点検及び評価結果の報告について】（基本方針 5 関係）

*平成 29 年 9 月 1 日開催の教育委員会会議

- ・運動嫌いな子どもを減らすことが、長期的な視点で考えれば大人になってからの健康促進にもつながると考えられるため、府全体の健康問題などに関わる部局とも連携を図り、子どもの体力の向上に資するプログラムを実施するよう要望。

【「大阪府教育振興基本計画」の後期事業計画の策定について】（基本方針 2 関係）

*平成 29 年 9 月 1 日開催の教育委員会会議

- ・教員が日常的に英語を使うことができる環境を整備するなど、教員の英語力維持につながる支援が必要であると提起。

【大阪府立学校条例及び大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画に基づく平成 29 年度実施対象校について】（基本方針 2 関係）

*平成 29 年 11 月 17 日開催の教育委員会会議

- ・機能統合される学校が培ってきた教育内容、文化、歴史等が統合先の学校に引き継がれるよう要望。

【大阪府教育振興基本計画における後期事業計画（素案）について】（基本方針 2、7 関係）

*平成 30 年 1 月 19 日開催の教育委員会会議

- ・働き方改革の推進について、労働時間縮減のためには、業務の見直し、優先順位づけ、分担など学校の中の仕事のやり方を変え、目標管理・チェックの仕組みが必要であると提起。
- ・グローバルリーダーズハイスクールの目標値として、外国の大学への進学実績を記載するなど事業目標に沿った指標の追加を要望。

その他の取組み

【各種行事の視察等】（基本方針7関係）

- *平成29年5月22日開催の学校経営推進費第2次選考委員会
- ・府庁で開催された学校経営推進費第2次選考委員会に出席。

【その他】

- *大阪府議会への出席 3回（教育常任委員会 1回、教育常任委員協議会 1回、就任あいさつ 1回）
- *学校視察 2校（府立桃谷高等学校 等）

自己点検及び評価

企業経営従事者の視点から、教育庁及び学校の

- ① 組織のあり方
- ② 組織及び個人の目標の管理及びチェック機能の仕組み作り
- ③ 教員の労働環境

の領域の課題に関して、特に、意見及び提案を行った。

①、②、③の全てにおいて、行政と民間（企業）の類似点及び相違点に留意しながら、企業で行われている取組み等を紹介すると共に、企業での良い取組みをどうすれば行政に導入できるか等について、自らも研究し、積極的に提言を行った。

また、英語教育やキャリア教育に関しても、企業が求める能力を示し、改善案の方向性を示した。

反省点としては、小中学校の教育内容及び支援学校に関する研究と、それに基づく課題の発見と解決策の提示が少なかったことであるため、平成30年度には改善したい。

平成 29 年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【竹若洋三委員】(平成 27 年 6 月 2 日就任)

教育委員会議における取組み(主な発言の内容) 【会議出席 11 回】

【平成 29 年度大阪府教育庁の運営方針について】(基本方針 1 関係)

*平成 29 年 4 月 21 日開催の教育委員会会議

- ・スクール・エンパワーメント事業について事業開始から 5 年を経過していることも踏まえ、効果検証を行ったうえで今後の取組みにつなげていくよう要望。

【平成 30 年度大阪府立学校校長及び公立小・中・義務教育学校任期付校長の公募選考について】(基本方針 7 関係)

*平成 29 年 5 月 17 日開催の教育委員会会議

- ・民間人校長の経営マネジメント能力が発揮されている例などを市町村に周知することで、現在、任期付校長を配置していない市町村にも配置が進むよう要望。

【文理学科の拡充について】(基本方針 2 関係)

*平成 29 年 7 月 21 日開催の教育委員会会議

- ・文理学科の拡充について、生徒が夢や希望をもって進路選択ができるよう拡充理由等も含めて中学生等に対する十分な説明を要望。

【平成 28 年度教育行政に係る点検及び評価結果の報告について】(基本方針 1 関係)

*平成 29 年 9 月 1 日開催の教育委員会会議

- ・小学校における DREAM を活用した英語の指導力、中学校における英語教員が持つべき指導力を見取る指標の策定について要望。

【大阪府教育振興基本計画における後期事業計画(素案)について】(基本方針 6 関係)

*平成 30 年 1 月 19 日開催の教育委員会会議

- ・授業改善の支援は校種によって異なる課題があることから、それぞれの課題に沿った支援方法が必要であると提起。

【平成 30 年 2 月定例府議会提出予定の議案について】(基本方針 4 関係)

*平成 30 年 2 月 16 日開催の教育委員会会議

- ・スクールソーシャルワーカーの配置をすすめるとともに、学校の生徒指導体制が充実することが重要であると提起。

【府立支援学校における知的障がい児童生徒の教育環境の充実に向けた基本方針について】(基本方針 3 関係)

*平成 30 年 3 月 28 日開催の教育委員会会議

- ・知的障がいのある児童生徒の将来推計を踏まえた取組みの実施にあたっては、障がいのある子どもや保護者に不安を与えないよう計画的に行う必要があると提起。

その他の取組み

【各種行事の視察等】（基本方針5 関係）

- *平成29年9月23日開催の平成29年度大阪スポーツ賞贈呈式
 - ・府立労働センターで開催された平成29年度大阪スポーツ賞贈呈式に出席。

【各種会議への参加】（基本方針1、2 関係）

- *平成29年7月10日11日開催の全国都道府県教育委員会連合会
 - ・京都市で開催された総会に出席し、文部科学省からの行政説明、「次期学習指導要領について」「道徳教育について」をテーマとして意見交換。
- *平成30年2月5日開催の全国都道府県教育委員会連合会
 - ・東京都内で開催された全国都道府県教育委員協議会、全国都道府県教育委員会連合会総会に出席し、エビデンスに基づく教育活動の展開について協議。

【その他】

- *大阪府議会への出席 5回（教育常任委員会 4回、教育常任委員協議会 1回）
- *学校視察 5校（藤井寺市立藤井寺小学校 等） *表彰式出席 3回（優秀教職員等表彰式 等）

自己点検及び評価

大阪府教育振興基本計画5年目となる本年を前期事業計画の締め括りとし、成果と課題について討議を深めた。また、後期事業計画への継続性の観点から、各事業の推進・進捗状況の課題等について議論するとともに提言に努めた。

特に基本方針1「市町村と共に小中学校の教育力を充実します」において、これまで5年間の成果を評価するとともに、後期事業計画をより効果的な内容にするため、教育力の向上には計画性・系統性・継続性が不可欠であるという観点から、府教育庁の市町村教育委員会に対する指導方針の具体性の提言に努めた。

基本方針2「高校の教育力向上」「活力ある府立学校づくり」においては、英語教育やグローバルリーダーズハイスクール等の各事業の成果を一定評価しながら、特に不登校生徒数の減少が見られない現状については課題克服の提言に努めた。

基本方針3「障がいのある子どもの自立支援」については、今後10年間に増加が予想される知的障がいの児童・生徒数に関して、学習環境等の課題について議論を深めた。

今後、新学習指導要領が順次各校種で全面実施されるので、学校現場の状況の視察を積極的に行い、教育力の向上に努めたい。

平成 29 年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【岩下由利子委員】(平成 27 年 6 月 2 日就任)

教育委員会議における取組み(主な発言の内容) 【会議出席 9回】

【平成 29 年度大阪府教育庁の運営方針について】(基本方針 5 関係)

*平成 29 年 4 月 21 日開催の教育委員会会議

- ・2020 年東京オリンピックを契機として、オリンピックを招聘するなど体力向上につながる取組みの更なる充実を図るよう要望。

【平成 30 年度入学者選抜におけるインフルエンザ罹患患者等への対応について】(基本方針 2 関係)

*平成 29 年 5 月 17 日開催の教育委員会会議

- ・インフルエンザ等に罹った生徒に対する入学者選抜の実施に向けて、公平さを欠くものではないことを府民に対して丁寧に説明するよう要望。

【平成 28 年度教育行政に係る点検及び評価結果の報告について】(基本方針 5 関係)

*平成 29 年 9 月 1 日開催の教育委員会会議

- ・子どもたちの健やかな体を育むために、食育の視点から学校と家庭が学校給食を通じた連携を深められるよう要望。

【大阪府立学校条例及び大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画に基づく平成 29 年度実施対象校について】(基本方針 2 関係)

*平成 29 年 11 月 17 日開催の教育委員会会議

- ・高等学校再編整備計画を進めるにあたっては、地元の市町村等に対してより丁寧な対応を行うよう要望。

その他の取組み

【各種行事の視察等】（基本方針2関係）

＊平成 29 年 7 月 23 日開催の大阪府公立高校進学フェア

- ・マイドームおおさかにおいて開催された大阪府公立高校進学フェアを視察。

【その他】

＊大阪府議会への出席 3回（教育常任委員会 2回、教育常任委員協議会 1回）

＊学校視察 2校（府立富田林中学校 等）

自己点検及び評価

大阪府の教育方針を念頭に、将来を見据え各分野の情報収集を行うほか、私の仕事（高校生・大学生のクラブ活動）も参考に解決策について提言を行った。

平成 30 年度は、ラグビーワールドカップ 2019 の開催、第 32 回オリンピック競技大会（2020/東京）・東京 2020 パラリンピック競技大会の開催準備に向けて、国内ではスポーツに関するイベントも増え、国民はスポーツに対して通常よりも関心・意欲が高まる年になると考える。また、2021 年開催のワールドマスターズゲームズ 2021 関西も見据え、このチャンスを活かして大阪府の教育現場で抱える体力向上等の様々な課題解決に向けた取組みの成果が出せる年だと確信している。

今後も、教育を受ける側、教育・指導をされる側の立場を踏まえ、『人としてどうあるべきか？』を根底に、問題解決策の提言に努めていきたい。

また、平成 29 年度後半は会議や学校現場の視察・各種イベントについて計画通りに参画できなかった点があったが、平成 30 年度は時間の許す限り、様々な課題に対して取組みを進める教育現場の視察を行う。

平成 29 年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【良原恵子委員】(平成 28 年 2 月 25 日就任)

教育委員会議における取組み(主な発言の内容) 【会議出席 10 回】

【平成 29 年度 1 学期(平成 29 年 4 月 22 日以降)における教職員の懲戒処分の状況について】(基本方針 4 関係)

*平成 29 年 8 月 23 日開催の教育委員会会議

- ・未然防止に向けた研修の実施にあたっては、体罰やわいせつ行為が発生する際の環境的、生物学的なメカニズムに対する理解を進める等、研修内容の充実が必要であると提起。

【平成 28 年度教育行政に係る点検及び評価結果の報告について】(基本方針 2、4、8 関係)

*平成 29 年 9 月 1 日開催の教育委員会会議

- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの外部人材の配置・派遣が進む中、その効果的な活用についてはさらなる工夫等が必要であると提起。
- ・自然災害を想定した避難訓練の実施にあたっては、予め予備日を設ける等、全ての学校にて毎年実施できる方法について検討するよう要望。

【平成 30 年度「府立学校に対する指示事項」及び「市町村教育委員会に対する指導・助言事項」について】(基本方針 4 関係)

*平成 30 年 1 月 19 日開催の教育委員会会議

- ・ハラスメントは、単なるいやがらせという意味合いに留まらず、人権侵害や性犯罪の面があることを教職員に周知するよう要望。

その他の取組み

【各種行事の視察等】（基本方針2、4、9関係）

- ＊平成29年4月27日、29日開催の大阪府公立学校スクールカウンセラー連絡協議会
 - ・教育センターで開催された大阪府公立学校スクールカウンセラー連絡協議会に出席。
- ＊平成29年9月6日開催のスクールソーシャルワーカー連絡会
 - ・教育センターで開催されたスクールソーシャルワーカー連絡会に出席し、今後の取組みに関する協議に参加。
- ＊平成29年10月22日開催の全国ロボット相撲近畿大会
 - ・府立佐野工科高校で開催された「第29回全日本ロボット相撲近畿大会」を視察。
- ＊平成30年2月24日開催の教育コミュニティづくり実践交流会
 - ・ドーンセンターにて開催された教育コミュニティづくり実践交流会を視察。

【その他】

- ＊大阪府議会への出席 5回（教育常任委員会 4回、教育常任委員協議会 1回）
- ＊学校視察 5校（府立箕面東高等学校 等）

自己点検及び評価

市町村立学校や府立高校のスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの連絡協議会だけでなく、NPO法人・他機関等のスタッフなど外部人材が参加する連絡会に参加し、時には協議に加わり意見交換を行った。参加した連絡協議会や定例教育委員会会議では、“子どもの一生を見据えた上で、今、成長の途中にいる子どものために何が必要か、また学校にできることは何か”という視点から提言できるよう努めた。

中退防止対策の推進や課題を抱える生徒フォローアップ事業、小中学校生徒指導体制推進事業は一定の成果を得ている。これは学校現場の教職員が中心となり、大阪府教育庁、市町村教育委員会、配置または派遣された専門家や外部人材が「チーム大阪」として取り組んだ結果と考える。しかし、まだまだ取組みを必要とする課題は多い。

平成30年度は就任の折返し点を超え、後半を歩む。今までめざしてきた「児童生徒の課題解決のための保護者や学校現場へのサポート（個人支援のための体制支援）」「(心理面や福祉的な働きかけなど) 見えない支援を見える形に表す」を、平成30年度は、「(体制支援、見える形に表すことが) 具体的実地的な形につながる」ことを意識して取り組みたい。そのために、これまで以上に学校等の現場で、様々な立場の関係者と意見交換を行うことが大切と考えている。

平成 29 年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【岡部美香委員】(平成 28 年 10 月 1 日就任)

教育委員会議における取組み(主な発言の内容) 【会議出席 11 回】

【平成 29 年度大阪府教育庁の運営方針について】(基本方針 3 関係)

*平成 29 年 4 月 21 日開催の教育委員会会議

- ・障がいのある生徒の就労支援に向けて、学校と企業がニーズや情報などを共有できる仕組みについて検討してもらいたいと要望。

【平成 28 年度教育行政に係る点検及び評価結果の報告について】(基本方針 1、5、9 関係)

*平成 29 年 9 月 1 日開催の教育委員会会議

- ・「全国学力・学習状況調査」の調査結果分析時は、学力、人間関係、体力及び地域コミュニティの状況などの項目ごとだけではなく、項目間のつながりを踏まえた分析の実施も検討してほしいと要望。

【教職員の働き方改革に向けた取組み等について】(基本方針 7 関係)

*平成 29 年 11 月 17 日開催の教育委員会会議

- ・働き方改革の一環として地域人材を活用するにあたっては、人材の有無等が教育格差に直接つながることがないように留意すべきであると提起。

【大阪府教育振興基本計画における後期事業計画(素案)について】(基本方針 1、2 関係)

*平成 30 年 1 月 19 日開催の教育委員会会議

- ・小中学校の段階から理科等において社会的な事象とのつながりを意識した授業づくりを行うことで、国際的に求められる科学的リテラシーの育成につなげてもらいたいと要望。

【平成 30 年 2 月定例府議会提出予定の議案について】(基本方針 2 関係)

*平成 30 年 2 月 16 日開催の教育委員会会議

- ・高等学校におけるスクールソーシャルワーカーの配置に対する成果や評価について可能な範囲で見える化を図るよう要望。

【府立学校における働き方改革に係る取組みについて】(基本方針 2 及び 7 関係)

*平成 30 年 3 月 28 日開催の教育委員会会議

- ・働き方改革の一環として進学フェアや学校説明会の実施形態の変更を行う場合も、中学生や保護者に対する説明不足につながらないように丁寧な対応を心がけるよう要望。

その他の取組み

【各種行事の視察等】（基本方針1、2関係）

*平成29年10月8日開催の大阪府高等学校定時制通信制生徒秋季発表大会

・教育センターで開催された大阪府高等学校定時制通信制生徒秋季発表大会に審査委員として出席。

*平成29年11月25日開催の子ども元気アッププロジェクト「おおさか子どもジャンプアップ大会」

・東和薬品RACTABドーム（大阪府立門真スポーツセンター）で開催されたおおさか子どもジャンプアップ大会を視察し、子どもの体力の向上等について意見交換。

【各種会議への参加】（基本方針7関係）

*平成29年10月26日開催の都道府県・指定都市教育委員研究協議会

・東京にて行われた文部科学省主催の都道府県・指定都市教育委員研究協議会に出席し、「働き方改革について」をテーマとした分科会の協議に参加。

【その他】

*大阪府議会への出席 5回（教育常任委員会 4回、教育常任委員協議会 1回）

*学校視察 13回（高槻市立如是中学校 等） *表彰式出席 1回（優秀教職員等表彰式）

自己点検及び評価

すべてのエンパワメントスクールの視察を通じて、モジュール授業など独自の取組みが十分に機能するとともに、遅刻者の減少といった結果に繋がっていることが確認できた。また、他の高校の視察等を通じて、各校が特色ある教育活動を実践することで成果を出していることを把握した。

一方、多くの学校や各種発表会等の視察を通じて、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの必要性が高まっていることや、支援教育のさらなる充実が求められていること、外国にルーツを持つ生徒の増加に伴う対応、またキャリア教育における質の転換が迫られていること等の課題把握を行うとともに、課題解決に向けた支援策に関する具体的な提言も行った。

平成30年度は、高校における通級指導が開始され、また、今後支援を必要とする児童生徒が増加することが見込まれていることから、様々な支援教育の現場を視察し、インクルーシブ教育システムの構築に向けた課題を具体的に把握できるよう努めたい。また、キャリア教育についても、各校のカリキュラムやシステムなどの具体的な教育内容を把握することで、質の改善及び向上のための積極的な提言を行いたい。

併せて、グローバルリーダーの育成、生涯スポーツの基礎としての学校体育等の推進、公立社会教育施設の所管の在り方等についても、多くの学校や各種発表会等の視察を通じて課題を把握するとともに、積極的な提言に努めてまいりたい。